

November 4, 2021

【前日の為替概況】ドル円 114.22 円まで上昇後、パウエル FRB 議長発言で伸び悩み

3日のニューヨーク外国為替市場でドル円は反発。終値は114.01円と前営業日NY終値(113.96円)と比べて5銭程度のドル高水準だった。この日発表された10月ADP全米雇用報告や10月米ISM非製造業指数などが予想より強い結果となったことを受けて、NY勢の参入後は買いが先行した。もっとも、米連邦公開市場委員会(FOMC)の金融政策公表後は114.00円を挟んだ神経質な展開に。米10年債利回りの上昇とともに一時114.22円まで上値を伸ばしたものの、パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長の発言が伝わるとやや頭が重くなった。

FOMCは市場の予想通り政策金利を据え置き、テーパリング(資産購入の段階的縮小)の開始を決定。現在は月額1200億ドル(米国債800億ドル、住宅ローン担保証券400億ドル)のペースで進めている資産購入について、11月から毎月150億ドルずつ(米国債100億ドル、住宅ローン担保証券50億ドル)減額する方針を示した。一方、声明文ではインフレ加速について、前回の「一時的(transitory)な要因」から「一時的と予想される要因」に若干表現を緩めながらも「一時的」との判断自体は維持した。また、パウエルFRB議長はその後の会見で「まだ利上げのタイミングではない」「FRBは利上げに関して忍耐強くいることができる」などと述べるなど、利上げについては慎重な姿勢を示した。

ユーロドルは反発。終値は1.1612ドルと前営業日NY終値(1.1579ドル)と比べて0.0033ドル程度のユーロ高水準だった。良好な米経済指標などを背景に1.1562ドルまで下落する場面があったものの、その後は売りも一服した。FOMCの金融政策公表後は1.15ドル台後半で上下に振れる動きとなったが、FRB議長の発言を受けて次第に買いの勢いが強まり、1.1616ドルまで反発した。

ユーロ円は反発。終値は132.38円と前営業日NY終値(131.96円)と比べて42銭程度のユーロ高水準だった。ユーロドルの上昇や株高などが手掛かりとなり、引けにかけて132.41円まで値を上げた。

【本日の東京為替見通し】ドル円、OPEC プラスを控えて底堅い展開か

本日の東京外国為替市場のドル円は、OPEC プラスでの増産ペース維持への警戒感から底堅い展開が予想される。

石油輸出国機構(OPEC)とロシアなど主要産油国でつくる「OPEC プラス」は本日の閣僚協議で、原油の12月以降の増産ペースを巡り協議するが、前回同様に日量40万バレルのペースで増産する現行の合意が維持されるとの警戒感が高まっている。原油相場が7年ぶりの高値圏まで上昇し、インフレ高進が一時的ではなく持続的になりつつある中、世界の中央銀行は量的金融緩和をやめ、利上げ観測が高まりつつある。プーチン露大統領は1バレル当たり100ドルの可能性を警告し、日米印を含む石油消費国が増産加速を要請しているものの、産油国は、気候変動に対する取り組みや新型コロナウイルス感染再拡大への警戒感から、増産に慎重なスタンスを崩していない。原油価格の高騰を抑制する手段としては、中国国家食料物資備蓄局が、ガソリンとディーゼル燃料の備蓄を放出したように、米国が戦略石油備蓄(SPR)の放出に踏み切ることなどが挙げられる。グランホルム米エネルギー長官は、2015年に解除された原油の輸出禁止措置を排除しない考えを表明し、SPRの利用を検討していることも明らかにしている。

米連邦公開市場委員会(FOMC)では、前回のFOMCで予告されていたように、月額1200億ドル(米国債800億ドル、住宅ローン担保証券400億ドル)の資産購入を、11月から毎月150億ドルずつ(米国債100億ドル、住宅ローン担保証券MBS50億ドル)減額する方針が示された。しかし、11月と12月に購入を縮小した後には毎月同様の資産購入減速が適切になる可能性が高いと委員会は判断するが、経済見通しの変化に応じて妥当だと判断される場合は、購入ペースを調整する用意がある、と表明されている。すなわち、11月は1050億ドル(米国債700億ドル、MBS350億ドル)、12月は900億ドル(米国債600億ドル、MBS300億ドル)と減額されるものの、来年以降は経済見通しの変化に応じて調整される可能性が示唆された。さらに、パウエルFRB議長は「インフレ高進は一時的(transitory)」との見解を堅持し、利上げについては辛抱強くなれるとの認識を示した。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

特になし

<海外>

- 09:30 ◇ 9月豪貿易収支（予想：122.00億豪ドルの黒字）
- 15:45 ◇ 10月スイス SECO 消費者信頼感指数（予想：7）
- 16:00 ◎ 9月独製造業新規受注（予想：前月比 2.0%/前年同月比 11.3%）
- 17:50 ◎ 10月仏サービス部門購買担当者景気指数(PMI、予想：56.6)
- 17:55 ◎ 10月独サービス部門 PMI 改定値（予想：52.4）
- 18:00 ◎ 10月ユーロ圏サービス部門 PMI 改定値（予想：54.7）
- 18:00 ◎ ノルウェー中銀、政策金利発表（予想：0.25%で据え置き）
- 18:30 ◎ 10月英建設業 PMI（予想：52.0）
- 19:00 ◎ 9月ユーロ圏卸売物価指数（PPI、予想：前月比 2.2%/前年比 15.2%）
- 20:00 ◎ デコス・スペイン中銀総裁、講演
- 20:30 ◇ 10月米企業の人員削減数（チャレンジャー・グレイ・アンド・クリスマス社調べ）
- 21:00 ☆ 英中銀金融政策委員会（MPC）2 日目、終了後政策金利発表（予想：0.10%で据え置き、資産買取プログラムは 8950 億ポンドで据え置き）
- 21:00 ☆ 英中銀 MPC 議事要旨
- 21:30 ◇ 9月カナダ貿易収支（予想：15.5億カナダドルの黒字）
- 21:30 ◎ 9月米貿易収支（予想：805億ドルの赤字）
- 21:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数/失業保険継続受給者数（予想：27.5万件/211.8万人）
- 21:30 ◇ 7-9月期米非農業部門労働生産性・速報値（予想：前期比▲3.0%）
- 21:30 ☆ 7-9月期米単位労働コスト・速報値（予想：前期比 7.0%）
- 22:00 ◎ ラガルド欧州中央銀行（ECB）総裁、講演
- 23:00 ◎ エルダーソン ECB 専務理事、講演
- 5日 02:50 ◎ カンリフ英中銀（BOE）副総裁、講演
- 5日 03:15 ◎ シュナーベル ECB 専務理事、講演
- 石油輸出国機構（OPEC）とロシアなど非加盟産油国による「OPEC プラス」閣僚級会合（テレビ会議）
- シンガポール（ディーパバリ）、インド（ディワリ）、ロシア（民族統一の日）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

3日 07:49 オア NZ 準備銀行(RBNZ)総裁
「労働市場データは現時点で非常に不安定」
「住宅価格の変動の主な要因は空き地不足」
「新型コロナウイルスの変動を鑑みると、GDPの数値を推測することは困難」

3日 13:10 バイデン米大統領
「近日中に次期FRB議長を指名する」

3日 19:10 ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁
「中期的インフレの見通しは依然として抑制されている」
「パンデミック緊急購入プログラム(PEPP)が終了した後も、金融政策が回復を支援するために重要」

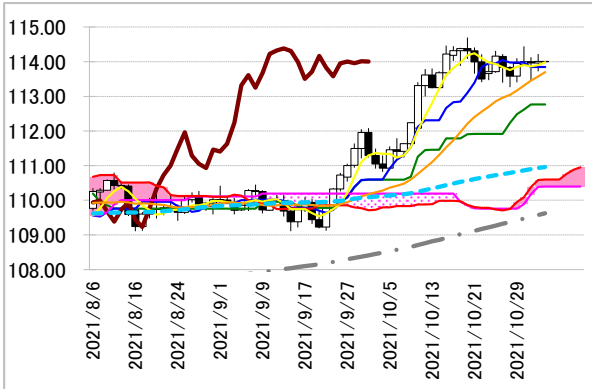
3日 20:07 デコス・スペイン中銀総裁
「インフレ高進は一時的だろうが、当初の推定より持続する可能性がある」
「今後数カ月は比較的に高いインフレ率につながる可能性もある」

4日 03:00 米連邦公開市場委員会(FOMC)声明
「FRBは、この厳しい局面で米経済を支援するためにあらゆる手段を行使し、雇用最大化と物価安定という目標を促進することに全力で取り組む」
「ワクチン接種の進展と強力な政策支援により、経済活動と雇用の指標は引き続き力強さを増した。このパンデミックによって最も悪影響を受けた業種はここ数カ月で改善したが、新型コロナウイルスの夏の感染者増加により回復が遅れている」
「インフレ率は主に一時的なものと予想される要因を反映し、高止まりしている」
「パンデミックと経済の再開に関連する需給の不均衡は、一部のセクターで大幅な価格上昇の一因となっている」
「経済および米国の家計や企業への信用の流れを支援するための政策措置を部分的に反映し、全体的な金融状況は引き続き緩和的だ」
「経済の道筋は引き続き、ウイルスの行方に左右される。ワクチン接種の進展と供給制約の緩和は、経済活動と雇用の継続的な増加とインフレの抑制をサポートすることが期待されている。経済見通しに対するリスクは残っている」
「委員会は雇用最大化と長期的な2%のインフレ率の達成を目指す」
「インフレ率がこの長期的な目標を継続的に下回ってきたため、委員会は当面、2%をやや上回る程度のインフレ率の達成を目指す」

「これによりインフレ率は時間とともに平均で2%になり、長期的なインフレ期待は2%にしっかりとどまる」
「これらの結果が達成されるまで、委員会は緩和的な金融政策の姿勢を維持すると予想する」
「委員会はFF金利の目標誘導レンジを0-0.25%に維持することを決定し、労働市場の状況が委員会の最大雇用の評価に一致する水準に達し、インフレ率が2%に上昇して当面の間2%をやや超えるような軌道に乗るまで、この目標誘導レンジを維持することが適切だと予想する」
「昨年12月以降、経済が委員会の目標に向けてさらに著しく進展したことを考慮して、委員会は月間ペースで米国債を100億ドル、住宅ローン担保証券を50億ドル削減し始めることを決定した」
「今月下旬から委員会は、米国債の保有を少なくとも月700億ドル、および住宅ローン担保証券の保有を少なくとも月350億ドル増やす予定だ」
「委員会は12月から米国債の保有を少なくとも月600億ドル、および住宅ローン担保証券の保有を少なくとも月300億ドル増やす予定だ」
「委員会は資産購入のペースを毎月同様に削減することが適切であると判断するが、経済見通しの変化によって正当化される場合は購入のペースを調整する準備がある」
「FRBの継続的な債券の購入と保有は、円滑な市場機能と緩和的な財政状態を促進するのに役立ち、それによって家計や企業への信用の流れを支援する」
「金融政策の適切な姿勢を評価するに当たり、委員会は今後もたらされる経済見通しに関する情報の意味を引き続き監視する」
「もし委員会の目標の達成を妨げる可能性があるリスクが生じた場合、委員会は金融政策の姿勢を適切に調整する準備がある」
「委員会の評価は、公衆衛生に関連する情報、労働市場の状況、インフレ圧力、インフレ期待、金融と世界の動向を含む幅広い情報を考慮する」
「今回の決定は全会一致」

4日 03:35 パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長
「我々はリスクに注意を払っている」
「実質GDPの伸びは著しく鈍化している」
「インフレが目標を上回れば手段を講じる」
「インフレへの対応で躊躇はしない」
「まだ利上げのタイミングではない」
「来年後半までに最大雇用が達成できる可能性」
「来年の4-6月期か7-9月期にインフレは減速するだろう」
「FRBは利上げに関して忍耐強くいることができる」
※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

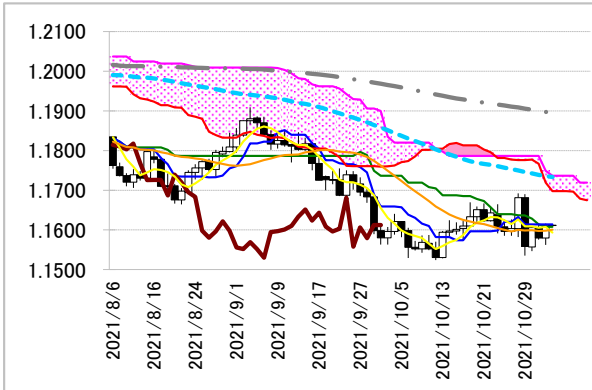


<ドル円=10/28 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。転換線を上回って引けていることで続伸の可能性が示唆されている。

本日は、10月28日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	115.51 (2017/3/10 高値)
レジスタンス 1	114.70 (10/20 高値=年初来高値)
前日終値	114.01
サポート 1	113.26 (10/28 安値)
サポート 2	112.76 (日足一目均衡表・基準線)

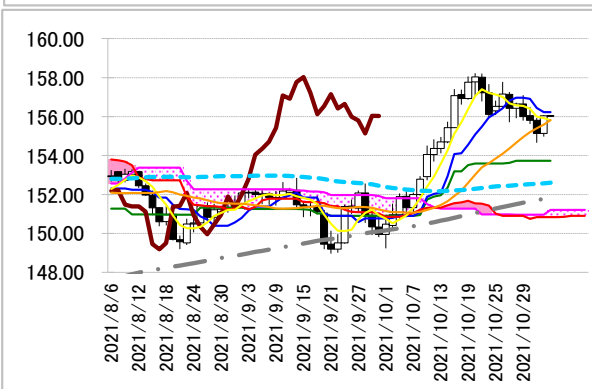


<ユーロドル=10/12 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・雲の下で引けているものの、一目・転換線は基準線は上回り、遅行スパンは実線を上回っていることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。転換線を上回りつつあることで続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線 1.1614 ドルを念頭に置き、10月12日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1692 (10/28 高値)
前日終値	1.1612
サポート 1	1.1524 (10/12 安値=年初来安値)

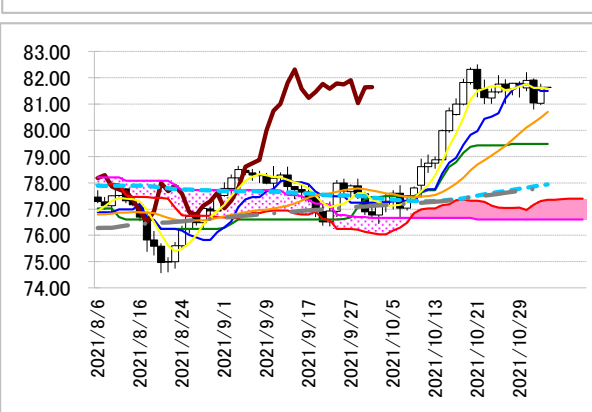


<ポンド円=11/3 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。3手連続陰線で下落した後、抱き線で反発しており、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、11月3日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	157.10 (10/29 高値)
前日終値	156.04
サポート 1	154.97 (11/3 安値)



<NZドル円=11/3 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。孕み線で反発し、転換線を上回って引けていることで続伸の可能性が示唆されている。

本日は、11月3日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	82.51 (10/21 高値=年初来高値)
前日終値	81.64
サポート 1	80.97 (11/3 安値)

